

令和5年度
安全報告書



1. ごあいさつ

平素は大井川鐵道をご利用いただきまして誠に有難うございます。

また、地域の皆様をはじめ関係の皆様には、当社事業につきまして日頃より格別のご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は昨年度におきまして、令和5年11月28日に列車分離の重大インシデントを発生させました。ご利用のお客様ならびに関係の皆様に対しまして、ここに改めて深くお詫び申し上げます。

当社は、二度と同様の事故を起こさない決意のもと、まずは原因究明と再発防止にむけた取り組みを行っております。また、再発防止にむけた取り組みにおいては、国土交通省中部運輸局様、並びに運輸安全委員会様、鉄道事業各社様のお力添えのもと、業務取扱方の見直し及び教育の再徹底を図っております。

鉄道事業者としてお客様に安心してご利用いただけるよう、全社一丸全力を挙げて取り組んでまいります。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、大井川鐵道における輸送の安全確保への取り組みや事故等の発生状況と再発防止策についてまとめたもので、皆さまに広くご理解をいただく為に作成いたしました。ご利用になる全てのお客様と沿線にお住いの方々にご理解をいただくと共に、皆さまの声を今後の安全輸送に役立てたいと考えております。ご覧いただく中で、皆さまからのご意見を頂戴できれば幸いです。



大井川鐵道株式会社
代表取締役社長 鳥塚 亮

2. 基本方針と安全目標

1. 基本方針

当社は、安全第一の意識をもって輸送の安全を確保するための管理の方針、その他事業活動に関する基本的な方針を定め、安全の確保に関する業務の実施状況等を踏まえ、必要に応じて見直します。

なお、次のように「行動規範」を掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり推測に頼らず、確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に努めます。

2. 安全目標

「鉄道運転事故ゼロ」



3. 令和5年度 安全重点施策

安全性向上および安全目標を達成するため、安全管理規程に基づいて策定した令和5年度安全重点施策を以下のように取り組みました。

- ・労働災害軽減指導の実施

安全衛生委員会実施時等に注意喚起を行うと共に労働災害防止対策についての検討を行いました。令和6年度も労働災害軽減の為の指導を強化いたします。

- ・ヒヤリハット報告の環境づくり

毎月開催する鉄道管理会議において各職場からの聴き取り調査を行い、同日開催される安全衛生委員会にてヒヤリハット事象の有無や、その内容報告と再発防止策を検討しました。令和6年度も職場長から報告を受けたヒヤリハットの内容を踏まえ、安全衛生委員会でその内容を再度確認し、労働災害につながる可能性や再発防止策を検討してまいります。

- ・入換え打合せの徹底

「入換え打合せの徹底」という安全重点施策を掲げましたが列車分離を発生させてしまいました。

当社は本事案を厳粛に受け止め、管理体制の見直し、現場の課題の早期把握、入換えマニュアルの整備を含む教育体制の充実、強化に取り組んでおります。

- ・年3回の出庫点検立会いと列車添乗指導

教導運転士が始発前の出庫点検と列車運転添乗指導を行い、点検箇所の把握、点検順序、操作・確認事項、列車運転時の指差確認喚呼、沿線注意箇所の把握、速度、ブレーキの基本操作の徹底が適切になされているか見極め、安全運行に努めています。

- ・接客サービスの向上

接遇マナー5原則（挨拶・身だしなみ・言葉遣い・表情・態度）を意識することで、お客様へ提供するサービスの質が向上できるよう努めてまいります。

- ・旅客の安全な誘導案内の完全実施

列車がホームに進入する際の案内放送、組成や両数に合わせた客車乗降口の案内と、触車防止対策を実施しました。

令和6年度も、構内放送を活用し、注意を喚起することにより、お客様に事故やけがの無いように努めてまいります。

- ・車両故障の低減、労働災害の低減

令和5年度の車両故障件数は本線が7件、井川線が5件で本線は前年度と比べ5件減、井川線は前年度と比べ3件減でした。前年度の故障原因が経年劣化によるものが多かったため、この結果を生かし、経年劣化を的確に捉えたことにより、車両故障の低減を達成することができましたが、施設に起因する車両故障が増えました。

引きつづき、車両故障の低減、車両整備に関する知識や、理解度の把握に努めてまいります。

- ・施設故障の低減

令和5年度の電気施設の故障件数は、本線が9件、井川線が1件で、本線、井川線とも前年度と比べ増減がありませんでした。

電気施設に起因する障害の対策として電球のLED化や、ブラシレス遮断機への更新をしていき、経年劣化している部品については取替更新し、施設故障の低減に努めてまいります。

- ・ヒューマンエラーゼロ

鉄道保守作業に伴う列車の運転への支障や労働災害がありませんでした。

令和6年度もヒューマンエラーゼロを目指します。

- ・線路巡視強化・落石、倒木の点検強化

落石、倒木においては、自然災害を受けやすい路線で気候変動による豪雨災害が年々増えております。本線は落石、倒木、土砂流入の件数としては前年度より減りましたが、台風や、豪雨による被害の規模が大きい事象が多くありました。

今後は危険箇所の点検を強化し、雑木の伐採、落石防止柵の設置等、未然に防止する対策を積極的に行い低減に努めてまいります。

4. 令和5年度事故等の発生件数

1. 鉄道運転事故

令和5年度は、鉄道運転事故は発生しておりません。

なお、過去3年間の鉄道運転事故の発生件数と死傷者数の推移は、次の通りです。

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事故件数	0	1	0
死傷者	0	1	0
内死亡者	0	0	0

2. 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

大井川本線	設備故障（信号、線路）	1件
	自然災害（倒木、落石）	2件
	車両故障	5件
	動物衝突	1件
井川線	設備故障（信号、線路）	2件
	自然災害（倒木、落石）	6件
	車両故障	2件

設備、車両の点検強化・線路巡視の強化・法面の点検および計画的な危険木の除去を行い、安全運行に努めてまいります。

主な輸送障害

令和5年4月24日	大井川本線	合格駅構内	蒸気機関車水面計破損
令和5年5月7日	大井川本線	福用駅構内	停電による信号滅灯
令和5年6月2日	大井川本線	台風2号による雨量規制	
令和5年10月5日	井川線	長島ダム～ひらんだ駅間	倒木
令和5年11月7日	井川線	奥泉駅～アプトいちしろ駅間	土砂流入

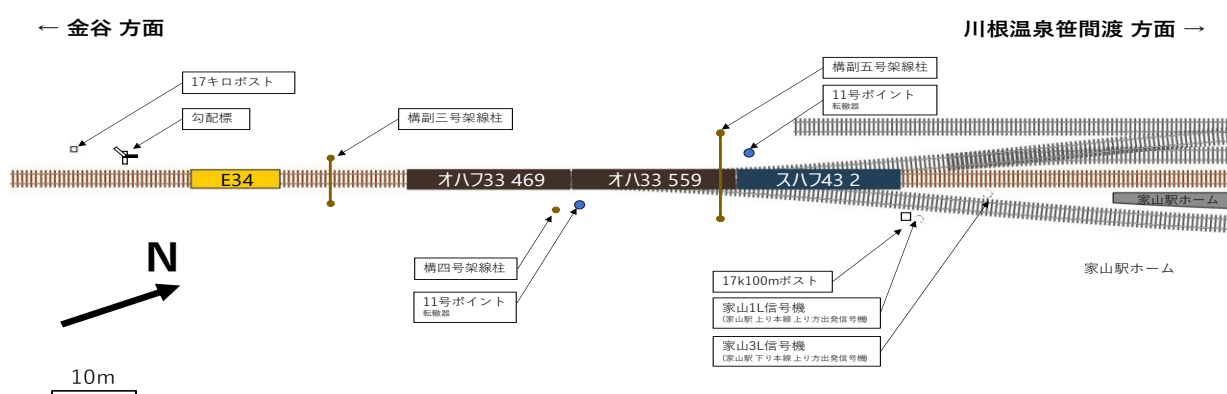
3. インシデント（事故の兆候）

令和5年度は大井川本線において列車分離が発生しました。

再発防止にむけて原因の追究および安全意識の向上、教育指導の強化を図り、安全輸送の確保に努めてまいります。

列車分離

- ・発生日時 令和5年11月28日（火） 14時45分頃
- ・発生場所 家山駅構内17K050M付近
- ・列車編成 E34 電気機関車1両+客車3両
- ・発生状況 14時45分に当該列車は家山発金谷行き第52列車として定刻に発車し、力行中、家山駅11号ポイントを通過後、電気機関車と直後の客車を繋ぐ連結器が外れました。制動管が外れたことにより、電気機関車と客車の双方に自動的にブレーキが作動し、家山駅ホーム終端からおよそ100mで停止しました。



- 【再発防止策】 操車掛の連結器構造の知識習得、連結手順の見直し、分離させないための完全連結の状態を確認すること。また、連結作業後に完全連結をされているかを操車掛と、機関車運転士又は運転助士の2名で相互に指差確認喚呼し、確認手順表にチェック記入する。

完全連結の確認方

- ・互いのナックルが噛み合い、高低差が100mm以内。
- ・互いの錠揚げ浮上防止用ストッパーをかける。
- ・互いの錠足が連結器下部から露出しているか。
- ・上作用連結器の場合、錠揚げが、錠揚げ穴に完全に落ちていること。
- ・下作用連結器の場合、錠揚げが完全に垂下（240mm以上）していること。
- ・牽引試験を行い連結器が外れないことを確認。

5. 輸送の安全確保のための取組み

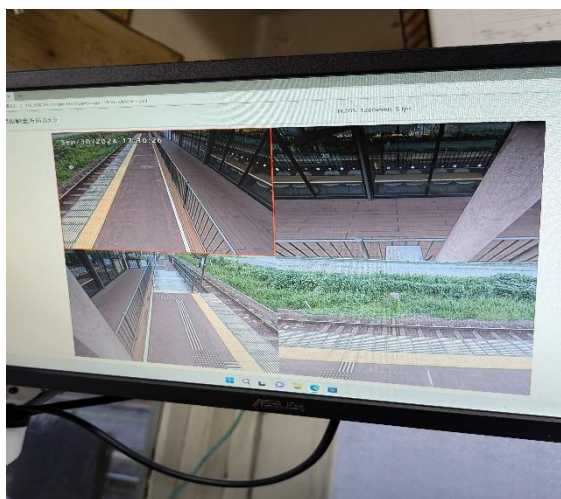
1. 整備事業等の実施

【大井川本線】

- ・ 門出駅ホーム進入検知注意喚起システム
- ・ 継目枕木交換 (合格駅～神尾駅間)
- ・ 危険木伐採作業 (門出駅～神尾駅間)
(大和田駅～家山駅間)

【井川線】

- ・ 落石防護網設置工事 (接岨峡温泉駅～尾盛駅間)
- ・ 落石防護柵設置工事 (奥大井湖上駅～接岨峡温泉駅間)
- ・ 隧道内漏水覆い撤去 (川根小山駅～奥泉駅)



2. 経営幹部による職場巡視

年末年始の輸送等に関する安全総点検の実施期間中に、会社幹部による各職場の巡視を行い、安全輸送に関する訓示を行うとともに、職員への安全意識の高揚に努めました。



3. 鉄道管理会議の実施

毎月1回、運輸部門、施設部門、営業部門合同による作業計画、営業計画の確認、当社で起きた輸送障害などが発生した場合の各現場部署の対応を検証し、再発防止策、事象が起こった原因究明を図っています。

特に繁忙期の前やイベント等の計画時には、輸送の安全に留意して綿密に打ち合わせを行っております。



4. 教育訓練

年間計画に従い、各部署ごとに訓練、研修を行い、安全意識の向上を図っております。



ヒューマンエラー講習会

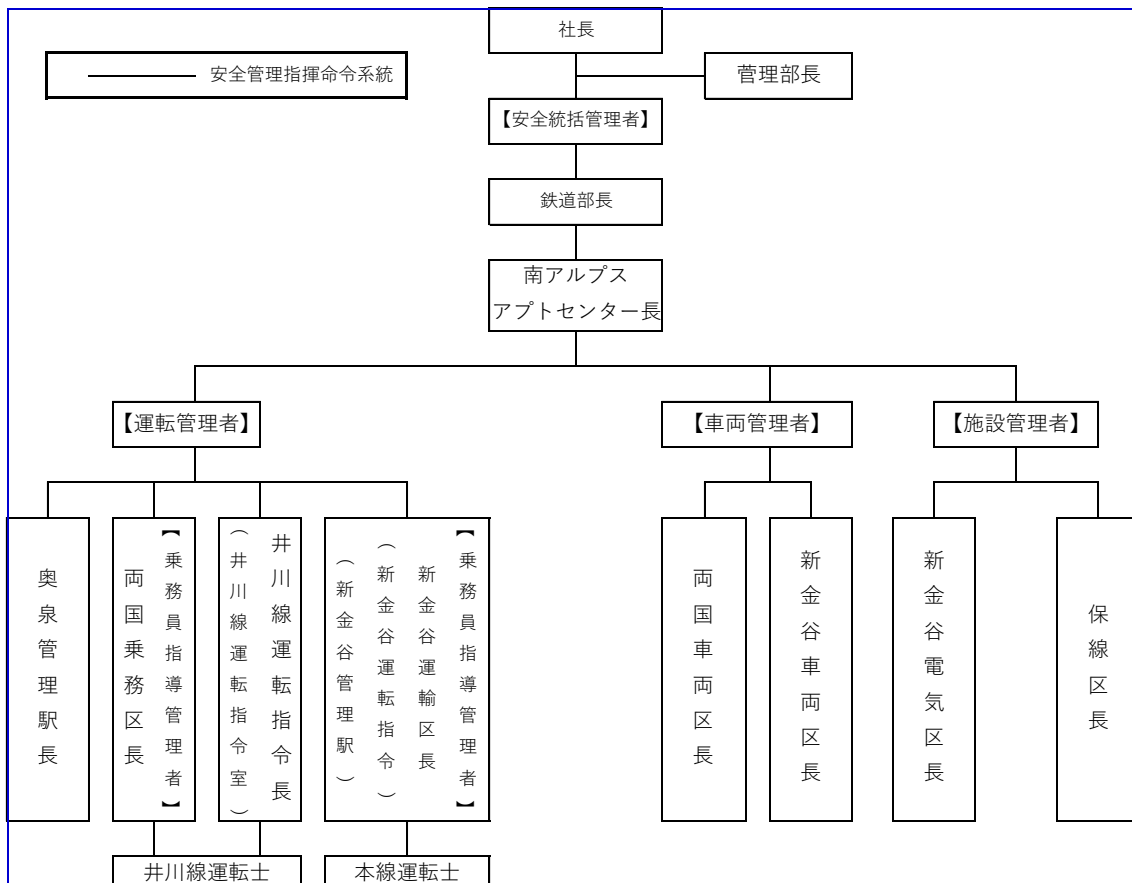


レールボンド取り付け方講習

6. 当社の安全管理体制

平成 18 年 10 月に安全管理規定を策定し、令和 2 年 4 月に改訂をおこない、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織の中で各管理者それぞれの責務を明確にし、安全確保のための役割を担っています。

役 職	役 割
社 長 【安全統括管理者】	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
管理部長	輸送の安全確保に必要な予算計画、要員に関する事項および交通施策に関する事項を統括する。
鉄道部長	安全統括管理者の命を受け、輸送の安全に関する業務を管理する。
南アルプスセンター長	鉄道部長の命を受け、井川線における輸送の安全の確保に関する業務を管理する。
【運転管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
新金谷運輸区長および 両国乗務区長 【乗務員指導管理者】	運転管理者指導の下、所属する乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。
【施設管理者】	安全統括管理者の指揮の下、土木施設および電気施設に関する事項を統括する。
【車両管理者】	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。



7. 沿線の皆さまへのお願い

1. 踏切事故防止について



踏切では必ず一旦停止して左右の安全を確かめてください。また、警報機が鳴ったら踏切内に入らないでください。万が一、車が踏切内に閉じ込められたときは、車で遮断竿を押して脱出してください。

踏切およびその付近で異常を発見した場合は、踏切非常ボタンを押していただくか、警報機に取り付けてあります緊急連絡先まで、ご連絡下さいますようお願いいたします。

2. 夜間作業のお願いについて



鉄道工事は、安全を確保するために夜間作業となることがあります。沿線の皆様にはご迷惑をおかけすることがございますが、可能な限り静かに、短期間に行うよう努めてまいります。何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

8. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

〒428-8503 静岡県島田市金谷東2丁目1112番地の2

大井川鐵道株式会社 鐵道部

- ・電話 0547-45-4113
- ・FAX 0547-45-4115
(月～金 9:00～17:00、年末年始を除く)
- ・メール unyu@oigawa-railway.co.jp
- ・Web サイト <http://oigawa-railway.co.jp/>

